

## 我が国における政権の枠組みの歴史

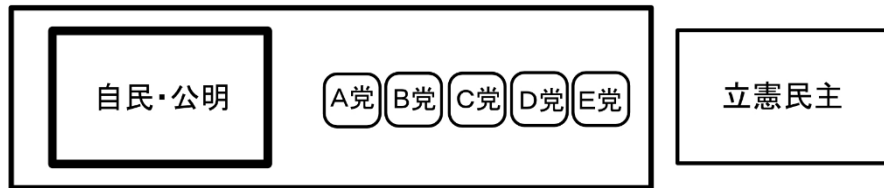
『日本国憲法』第54条の定めにより、総理大臣指名選挙を行う「特別国会」は、衆議院選挙の投票日から30日以内に召集しなければなりません。

10月27日投開票の『第50回衆議院議員総選挙』結果を受け、10月28日、自・公両党は国会内で協議。石破首相は11月11日に「臨時国会」を召集することで与野党協議に入っています。

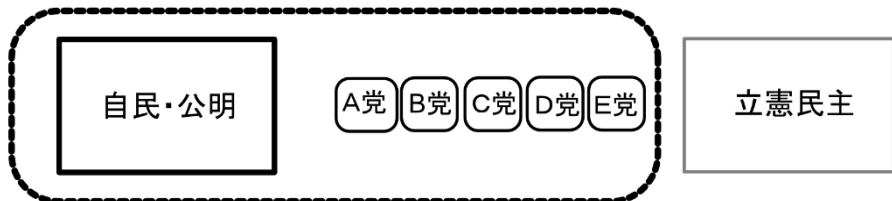
今総選挙で、与党は過半数を失い、少数与党に転落しました。今後の政権の枠組みが注目されています。自公+他党による「連立政権」か、立憲民主党+他党による「連立政権」で政権交代が実現するか。はたまた「閣外協力」か、「パーシャル連合」か、この点も大いに注目すべき点です。

### ※※ 日本の政権の枠組み ※※

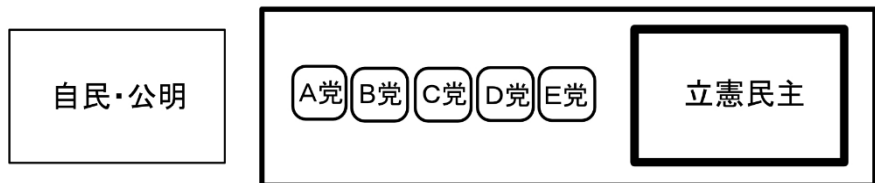
【自公+他党連立政権】  
（自公政権維持）



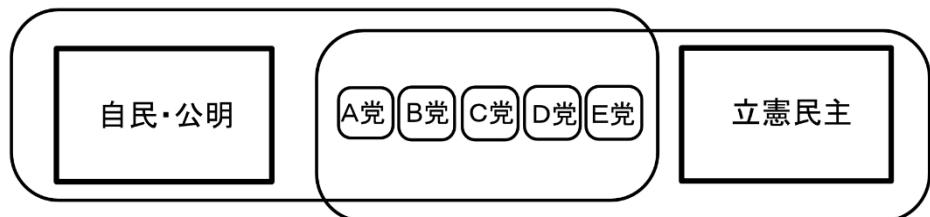
【閣外協力】  
（自公政権維持）



【立憲+他党連立政権】  
（政権交代）



【部分連合】  
（パーシャル連合）



我が国における政権の枠組みは、その時々政局によって大きく動いてきました。その政局（政治）の歴史を見ると、まさに連立（政権枠組み）の歴史でもあります。